

令和6年度不知火中学校区小中一貫教育推進プラン

【不知火中学校・不知火小学校】

宇城市教育大綱 (R3～R6)

「宇城市の子供・市民は地域の宝」

～笑顔とあいさつ、そして“1秒の言葉”で輝くまちづくり～

令和6年度宇城市「教育総務課」取組の方向

小中一貫教育を進めるための方針～宇城市～

【目標】

9年間の義務教育における系統的・継続的な学びをとおして、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成を図る。

【小中一貫教育で期待される教育効果】

- 1 学習指導上の成果をあげる
- 2 生徒指導上の成果をあげる
- 3 教職員の意識改革と指導力の向上

【具体的工夫】

- 1 中学校区での目指す子供像の設定
宇城市5つの中学校区でそれぞれ小中一貫教育推進プランを定め、共通課題解決の取組を進め目指す子供像の具現化を図る。
- 2 育ちや学びの連続性の確保
実態に沿って、次の項目について9年間の系統性・連続性を強化する。
特に接続期の系統性・連続性を重視する。①教育課程の編成、②生徒指導の充実・学習規律の徹底、③指導方法の工夫改善、④効果的な家庭学習、⑤教育活動の連携、⑥教職員の連携・協働、⑦地域やP T Aとの連携・協働
- 3 一人一人のニーズに応じた支援指導
学校間及び関係機関との連携・協働を図り、深い児童生徒理解に基づいた関わりによって、小中学校接続期からの自尊感情の低下、問題行動及び不登校児童生徒の出現に歯止めをかける。

宇城市が目指す子供像

～夢や希望を持ち、人と人との絆を大切にしながら、社会の一員として主体的・創造的に生きていく児童生徒～

～基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と、これらを活用して課題解決に必要な思考力、判断力、表現力等の育成及び、主体的に学習に取り組む児童生徒～

～自ら運動に親しみ、体力を高め、健康で安全な生活のできる資質や能力を備えた児童生徒～

不知火中学校区を目指す子供像

○夢や目標を持ち、自ら学ぶこども

○進んで挨拶し、時間を守り、自他を思いやるこども

○共に汗し、共に励み、郷土を愛するこども

課題解決のための小中一貫の取組

- 1 (学習規律に係る内容) . . . (共通課題1)
 - ・チャイムで着席、授業を開始する(小学校)
 - ・1分前着席、チャイム黙想などのルールの確立(中学校)
 - ・休み時間に次時の授業準備をすることの徹底
- 2 (家庭学習に係る内容) . . . (共通課題2)
 - ・小中間での自学のやり方についての交流。
 - ・家庭学習、自学の手引き等のモデリング提示
- 3 (運動・健康に係る内容) . . . (共通課題3)
 - ・低・中・小6中1・中2 3の4グループに分けて、ウォーミングアップタイムの実施
 - ・メディアコントロール、基本的生活習慣づくり
- 4 (心の育成に係る内容) . . . (共通課題4)
 - ・挨拶運動などの小中合同での取組の実施
 - ・掃除を通して自分を見つめる心を育てる(自問清掃)
 - ・読書活動の推進

各学校の教育目標

不知火中学校

問いを持ち、探求・協働し、表現できる生徒の育成

～一人一人が大切にされ、学びの場があり、
認められる授業づくりを目指して～

不知火小学校

「創造 新生不知火小」

～自分たちの手で 仲間とともに～

校区における共通課題

- 1 (学習規律に係る内容)
 - ・集中力が長く続かず話を聞く姿勢が崩れがちな子供がいる。
 - ・授業形態、取り組みについては改善の必要がある。
- 2 (家庭学習に係る内容)
 - ・取組の習慣化ができずおらず取組み方を変えていく必要がある。
 - ・取組の内容、質に個人差がみられ、支援が必要である。
- 3 (運動・健康に係る内容)
 - ・体力は改善傾向にある。ただし、肥満傾向の児童の増加、う歯治療率の低下がみられる。
 - ・メディア利用により生活リズムが乱れがちな子供が増えてきている。
- 4 (心の育成に係る内容)
 - ・友達に対してつい嫌なことを言ったり、傷つけたりしてしまうことがある。
 - ・自信をもって返事ができない、自尊感情の低さに課題がある。
 - ・相手の感情を読み取る力が低い。